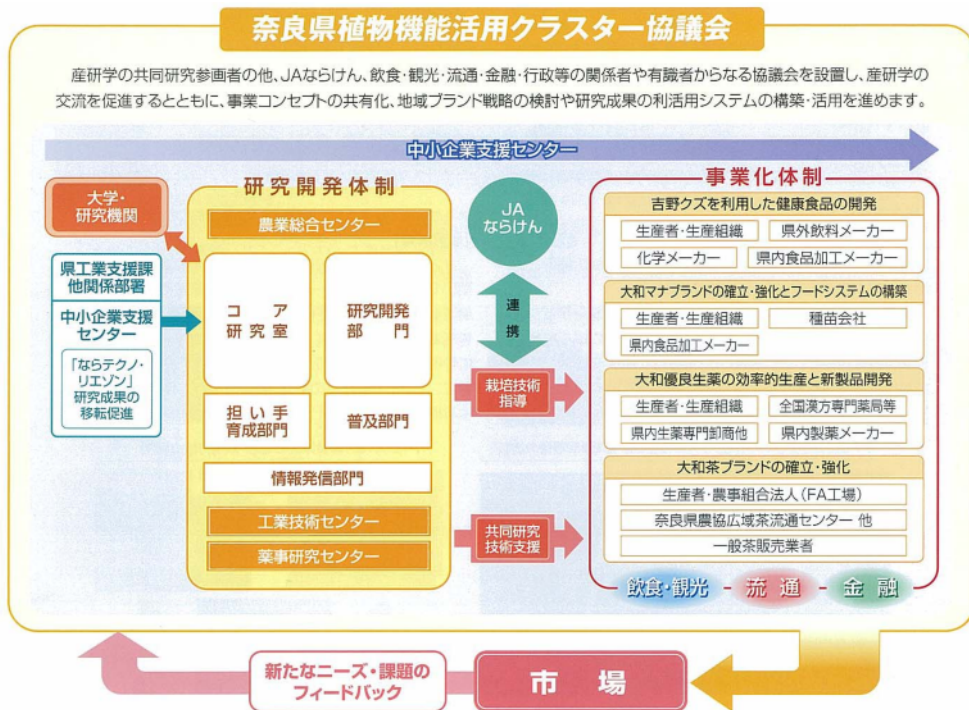


奈良県

- 【古都奈良の世紀植物機能活用技術の開発】
- ・生活習慣病の予防を目的として、奈良県地域結集型研究開発プログラムとして「古都奈良の世紀植物機能活用技術の開発」を行っている。
  - ・具体的には奈良で古くから食や薬として用いられている吉野クズ、大和マナ等の機能性の活用等に関する実用化技術の開発を行い、新商品を創出することを目指している。
- 【妊婦見守りシステム・泌尿器ヘルスケアシステム】
- ・文科省の都市エリア産学官連携促進事業として、関西文化学術研究都市機構が中心となり、妊婦ヘルスケア、泌尿器ヘルスケアシステムの開発を行っている。



出典) 財団法人奈良県中小企業支援センターパンフレットより



出典) 財団法人関西文化学術研究都市推進機構「ユビキタス生体計測ヘルスケアデバイス・システムの開発」パンフレットより

和歌山県

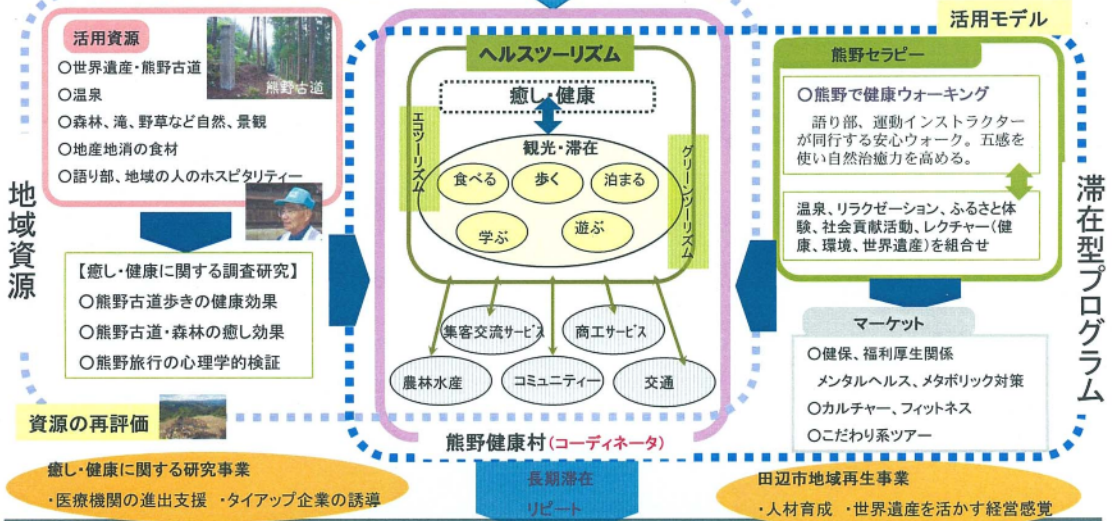
- ・ 世界遺産の熊野古道を活用しヘルスツーリズムを推進
- ・ ヘルスツーリズムの効果を計るため、民間企業や大学と連携して「熊野行動歩きの健康効果」、「熊野古道・森林の癒し効果」、「熊野旅行の心理学的検証」を検証。

熊野健康村構想

～世界遺産を活用した心身再生の旅～  
 <世界遺産活用型地域プロジェクト>

- 背景 ●ストレス社会 ●健康志向 ●生活習慣病による医療費の負担増  
 【地域】 ●世界遺産登録 ●少子高齢化・過疎化の進展 ●従来型観光産業の停滞

- 目的 世界遺産・熊野古道で地域活性化！  
 ●癒しの地・熊野のブランド化 ●質の高い交流人口の拡大、リピーター化 ●地域資源活用型サービス産業の創造



癒しの地・熊野らしい“SLOW STAY”の実現

ストレスを軽減



ストレスホルモンの一種である唾液中のコルチゾール値が熊野古道ウォーク後に減少。比較対象調査として行った和歌山市の平地公園では有意な変化はみられなかった。

熊野古道は、神秘的な森林やのどかな田舎の風情など安らぎを感じる風景に出会う道です。

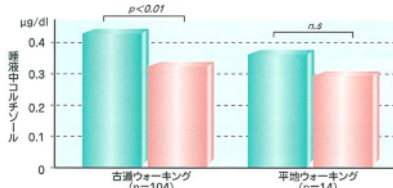


図1-① [ウォーキング前後の唾液中コルチゾールの変化]

出典)和歌山県提供資料